

リウマチ・腎臓内科に、過去に通院・入院された患者さんまたはご家族の方へ  
（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、研究用に保管された検体を用いて行います。このような研究は、厚生労働省・文部科学省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」（平成26年文部科学省・厚生労働省告示第3号）の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の問い合わせ先へご照会ください。

[研究課題名] マルチオミクスを用いた自己免疫性疾患の病態解明

\*マルチオミクスとは人体の機能を司る様々な物質を、一つ一つではなく、すべて一括して分析する手法のことです。

[研究機関名・長の氏名] 北海道大学病院 南須原 康行

[研究責任者名・所属] 北海道大学大学院医学研究院 免疫・代謝内科学教室 河野 通仁

[共同研究機関名・責任者名]

理化学研究所・石垣 和慶

慶應義塾大学 微生物学・免疫学教室・河野 通大

大阪大学・新聞 秀一、大塚 洋一、和泉 自泰

市立札幌病院 病理診断科・辻 隆裕

[外部委託機関名・責任者名]

株式会社エスアールエル・松本 誠

サーモフィッシャーサイエンティフィック株式会社・西島 豊

フォーネスライフ株式会社・藤田 篤美

九大 OIP 株式会社・大西 晋嗣

ヒューマン・メタボローム・テクノロジーズ株式会社・佐藤基

タカラバイオ株式会社・山下和男

KOTAI バイオテクノロジーズ株式会社・山下和男

[研究の目的] 自己免疫性疾患、原発性免疫不全の新しい治療ターゲットを明らかにすること。

[研究の方法]

○対象となる患者さん

自己免疫性疾患（全身性エリテマトーデス、全身性強皮症、関節リウマチ、脊椎関節炎、ベーチェット病、ANCA 関連血管炎、結節性多発動脈炎、高安動脈炎、側頭動脈炎、皮膚筋炎/多発性筋炎、TAFRO 症候群など）患者ならびに原発性免疫不全の患者さんで、2008年12月1日から2031年3月31日の間に、「北海道大学病院 リウマチ・腎臓内科：診療

目的で採取された血液・組織や、研究目的に提供いただく血液などの研究用保管とその利用」、「自己免疫性疾患における細胞内代謝の病態への関与」、「関節リウマチの滑膜における RasGRP4 などのシグナル分子発現に関する研究(研究番号 008-0103)」の研究用の血液、細胞、組織、体液などの保管に同意された方

#### ○利用する検体・カルテ情報

検体：血液、臓器、体液

カルテ情報：診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果、血液検査、尿検査、画像検査、病理検査

この研究は、当院の関連病院で上記疾患の患者さんの治療を行っている機関で実施します。上記の検体は、ATAC Seq、RNA Seq (シングルセル、bulk を含む)、T 細胞受容体・B 細胞受容体配列の解析、マルチオミクス解析のために理化学研究所、慶應義塾大学に送付します。メタボローム/プロテオーム解析、空間メタボローム/プロテオーム解析のために大阪大学に送付します。また腎臓組織の保管、病理学的検査、免疫染色のために市立札幌病院に送付します。上記のカルテ情報は、マルチオミクス解析のために理化学研究所、慶應義塾大学、大阪大学、市立札幌病院に郵送・宅配または電子的配信で送付します。

#### ○研究の内容

上記の検体から細胞における遺伝子や蛋白、代謝産物の量などを上記の測定業務委託機関に送付し測定します。万が一遺伝子の異常が疑われた場合には遺伝子解析を行う可能性もあります。このような場合個人識別符号という個人個人で異なる情報となりますので、個人情報として、個人情報保護法に則って研究をすすめます。

#### [研究実施期間]

実施許可日～2031年9月30日（登録締切日：2031年3月31日）

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

研究に利用する患者さんの情報に関しては、お名前、住所などは削除して管理いたします。個人情報に該当する情報は、個人情報管理者が厳重に管理します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる情報は削除して利用いたします。

\*上記の研究に検体・情報を利用することをご了解いただけない場合は以下にご連絡ください。

#### [連絡先・相談窓口]

北海道札幌市北 14 条西 5 丁目

北海道大学大学院医学研究院 免疫・代謝内科学教室 担当医師 河野 通仁

電話 011-706-5915